

1. 内外政

- ・5日、フィラト自由民主党党首は、本年実施予定のモルドバ議会選挙にて、ロシアは可能な限りの干渉を行うだろう旨発言。
- ・6日、ティモフティ大統領及びレアンカ首相は、訪問中のヘイグ英外相と会談し、地域情勢及びモルドバの欧州統合路線について議論。
- ・6日、ゲルマン外務・欧州統合相は、欧州評議会外相級会談に参加し、ウクライナ情勢を議論。
- ・7日、フォルムザル・ガガウズ自治区首長は、レアンカ首相によるブリュッセル訪問代表団への同行の提案を拒否。
- ・8日、コルマン議会議長は、来訪中のジジェク・トルコ議会議長とともに、フォルムザル・ガガウズ自治区首長及び同自治区議員団と会談。その後、両議長は、地元学生と会い、欧州統合路線の利点を説明。ジジェク・トルコ議会議長は、ガ

ガウズは統一したモルドバの構成要素であるべき旨発言。

- ・8日、カルポフ副首相は、モルドバにおけるロシアのテレビ放送が、民主主義及び法的基準を満たしておらず、注意深く対応する旨発言。
- ・9日、ロゴジン露副首相は、ロシア国家院議員団を引き連れ沿ドニエストル地域を訪問し、ロシアは沿ドニエストルを孤立させない旨発言。これを受け、外務・欧州統合省は、右訪問は、二国間関係に誤った評価を下すものとし非難。

2. 防衛

- ・7日、政府は、フォンドス氏を新国防次官に任命する大統領令を承認。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)